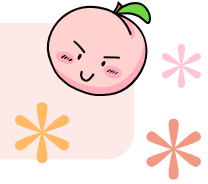


## 節分のお話（中）



みなさん、こんにちは。2月3日、今日は節分の日ですね。

節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。節分は年に4回ありますが、昔は、春に1年が始まると考えられていたため、冬と春を分ける節分が大切にされてきました。今では、2月の節分だけが、行事として残っています。節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出して福をよびこむ日です。恵方巻きを食べたり、豆まきする風習があります。

また、春日井市には「おとしこし」という郷土料理があります。冬にとれる大根やさといも、にんじんなどの旬の食材を使った煮物で、昔から家族そろって大みそかや節分に食べられてきました。昔は一年の始まりが節分だったことから「年をこす」という意味で、「おとしこし」という料理名になったといわれています。

今日は、みなさんも、一年を無事に過ごすことができることを願って節分の料理を食べて下さい。